

| △産業宣教<br>それが私の中にあるべき(創 1:27-28)  | △レムナント伝道学<br>今日の困難は土台(伝 3:15)   | △核心/Remnant Day<br>7 月学院福音化  | △散らされた弟子たち<br>私の祈り完成(使 1:3)  |
|--|---|--|--|
| <p>私の中に何があるべきなのか。</p> <p>1. 創 1:27 2. 創 1:28 の祝福 3. 優先順位が変わった時刻表</p> <p>□序論 <b>祈りの基準</b></p> <p>答えが見えるほど、祈りの祝福を味わっているべき。祈りは力を味わうこと</p> <p>1. 創 6:1-8、14、18、20 祈りを正しくすれば見え始める。ノアは神とともに歩んだ(創 6:1-8)「あなたのために、あなたの子孫のために、いのちを生き残れるようにするために箱舟を造りなさい」(6:14)他の人は見る事ができなかったが、ノアだけが見たこと。これが産業人の基準の祈り</p> <p>2. 創 13:14-18、22:1-19 アブラハムが祭壇を築き始めた。最も大きい答えが創 22 章</p> <p>3. 創 26:12-25 その契約をそのまま受け継いだ人がイサク。世界宣教ができる 100 年の答え。神様が与えられる力を受ける基準</p> <p>4. ヨケベデ、イテロ、ラハブ 神様のみことばを悟れば、神様の正確なことを握るようになること</p> <p>5. ハンナ、エッサイ 神様の契約を正確に見れば神様がなされる</p> <p>6. I 列 18:1-15 オバデヤが神様の契約を正確に見たこと</p> <p>7. ダニ 1:8-9 バビロンに神様の証しを見せるために偶像にささげた物を食べないと心を定めた</p> <p>8. 使 2:9-11 この人たちは、神様の契約を握って世界福音化する、その時刻表の中に入って来た</p> <p>9. 使 16:15、17:6、18:4 ピリピ教会の始まり(リディア)。ヤソとプリスカ夫婦</p> <p>10. ロマ 16:25-27 私の産業がこの中で見えるべき。それが祈り。</p> <p>□本論</p> <p>1. 創 1:27</p> <p>1) 神のかたちとして生きるべきいのち</p> <p>2) 三位一体神様-われわれがわれわれのかたちに</p> <p>3) 「われわれのかたちに」この力は創造の力</p> <p>2. 創 1:28</p> <p>1) 征服しなさい 2) 統治-治めなさい。</p> <p>3) 所有-支配しなさい</p> <p>3. 優先順位-時刻表</p> <p>1) 変えなければ創 3.6、11(私、私の考え、私のこと)になる</p> <p>2) 創 3:15 神様の解決策。キリストを送ってサタンの権威を砕く権威を私たちに</p> <p>3) 回復(礼拝、祈り)産業人は礼拝と祈りを正しく回復してこそみな回復する。</p> <p>□結論</p> <p>1. ネフィリムの水準は越えるべき</p> <p>2. ムスリムの水準は越えるべき</p> <p>3. 修行する人々の水準は越えるべき</p> <p>すべての重職者は人を見つめずに、みことばを握って回復しなければならぬ。産業人重職者ひとりだけ生かされても、教会が生かされる。</p> | <p>□序論_ RT の時刻表を持ってば多くのことを知るようになる</p> <p>1. 創 37:1-11 ヨセフ</p> <p>2. 出 2:1-10 モーセ</p> <p>3. I サム 3:19 サムエル</p> <p>4. 詩 78:70-72 ダビデ</p> <p>5. ダニ 1:8-9 ダニエル</p> <p>6. II 列 2:9-11 エリシャがこのような時間を持った。</p> <p>7. 使 17:1(当為性)、18:4(礼拝)、19:8(神の国)レムナントが祈って悟ればすべての所に神の国</p> <p>□本論</p> <p>1. 明日になれば今日は過去となる。</p> <p>1) 詩 90:10 黄金時間が飛んで行く。青少年の時期はとても重要</p> <p>2) 伝 3:1-10 時刻表が来る。</p> <p>3) 伝 3:15 過去、今日、未来がみなつながる</p> <p>2. 問題があるならば、すべて土台だ。</p> <p>1) ヨセフ-家庭 2) モーセ-国家</p> <p>3) サムエル-教会 4) ダビデ-社会</p> <p>5) エリシャ-偶像 6) ダニエル-捕虜</p> <p>7) 初代教会-属国、彼らはすべての問題を土台に</p> <p>3. 未来(伝 3:15) -過去、今日、未来がつながる</p> <p>1) 総理-ヨセフ 2) 世界指導者-モーセ</p> <p>3) ミツパ-サムエル</p> <p>4) ゴリヤテ-ダビデ</p> <p>5) 私たちが握った契約-ドタンの町運動</p> <p>6) バビロン(総理)-ダニエルが 237 か国に影響</p> <p>7) 使 19:21 これがローマにつながる</p> <p>□結論_ RT は霊的サミットになりなさい。</p> <p>霊的世界知っている人は祈りが分かる。祈りは時空を超越して御座を動かして、暗闇を砕く。</p> | <p>□序論_レムナントの時に、のがしてはならないこと</p> <p><b>3・9・3</b> -目に見えないように働かれる三位一体の神様、御座の祝福、時代を生かす使命</p> <p>このみことばが<b>脳・たましい・永遠</b>の背景である御座でともにあり、<b>刻印・根・体質</b>になれば無限大の力が出てくる。</p> <p>このときから、<b>CVDIP</b>がはっきりと出てくる。神様が与えられた契約(C)とビジョン(V)の中から出て来る、24 味わうことができる確実な答えが D、答え(I)は神のかたちに従って 25 として来て、作品(P)は永遠なことになる。</p> <p>1. 変えること-幸い、祈り、教会に仕えることと礼拝、天国、考え、変貌山(マタ 5-7、13、16-17 章)</p> <p>2. カルバリの丘、オリブ山、マルコの屋上の部屋の契約</p> <p>3. 私たちは見張り人-見張り人はやぐらがあるべきで、やぐらの中にはプラットフォーム、見張り台、アンテナがあるべき。</p> <p>□本論_ CVDIP が確実になれば All CVDIP(ガラテヤ人への手紙)</p> <p><b>1</b>ガラ 1:1-6</p> <p>1. 神様-<b>キリスト</b></p> <p>すべての宗教は人が作って神のようになるということ、それゆえ、神様が無条件に福音を与えてくださった</p> <p>2. 他の福音を伝えれば呪われる</p> <p>-この福音だけが人を生かすため</p> <p>3. 職分も神様が与えられたこと</p> <p><b>2</b>ガラ 2:20</p> <p>1. 私の中にキリストがともにおられるために、<b>私の考え、私の主張</b>が必要ない。神様のことだけが正しい。私の考え、私の主張が必要ないほど祝福を受けなさい。レムナント 7 人がみなそうした。</p> <p>ユダヤ人は多くの<b>長所</b>を持って福音を防いだ。ペテロ、バルナバさえ異邦人と食事したことを恐れた。</p> <p>2. 伝統</p> <p>3. 制度がすべてを倒すようになっている。</p> <p><b>3</b>ガラ 3:1-14</p> <p>1. <b>福音と律法</b>-教会史にいつもあった戦い</p> <p>2. <b>行ない</b>-<b>信仰</b>(試みにあう理由)-レムナントのとき、福音を正しく理解して、試みと葛藤、分裂は、みななくしてしまわなければならない。レムナントは、福音がすべてを終わらせたということ、深くフォーラムしてみなさい。</p> <p>3. 本当に私と教会の問題は何か-問題ではないことを持って問題にしているのだ。世界教会が門を閉め始めたが、皆さんだけでもワンネスになって伝道運動しなければならない。</p> <p><b>4</b>ガラ 5:22-23 聖霊の実</p> <p>1. 神様に対する実-愛、喜び、平安</p> <p>2. 人に対する実-寛容、親切、善意</p> <p>3. 自分に対する実-誠実、柔和、自制</p> <p><b>5</b>ガラ 6:6-10</p> <p><b>詩いたとおりに刈り入れる法則</b></p> <p><b>霊的なこと、福音、祈り</b>-時空を超越する。それゆえ、私は考えと息をすることをもって続けて祈る。</p> <p>レムナントと集まったとき、どのように集中して祈るのか確認しなければならない。</p> <p>□結論_ All Change CVDIP(すべてを変える旅程)になる。</p> | <p>完全に私の祈りに対する完成をした状態でなければならぬ。</p> <p><b>三つの時間(準備)</b></p> <p>朝およそ三時間程度準備して考え私はあらゆる事を祈りに変える。脳が生かされるべきなので呼吸を長くしなさい。</p> <p><b>常時祈り</b>屋にすべての出会い、できごと、現場において続けて祈り夜にまことの答えを受けて癒やされる<b>深い祈り</b></p> <p>疲れということがないのが基準だ</p> <p>□序論</p> <p>1. あらかじめ答えを味わう祈り→残りの者</p> <p>2. どんな状況がきても超越できる準備→巡礼者</p> <p>3. 未来セッティングする祈り→征服者</p> <p>□本論_ イエスが背景を説明されたこと</p> <p>1. 祈る理由も説明</p> <p>1) マタ 6:1-15 祈らなければならない理由と内容を説明</p> <p>2) マタ 26:41 「誘惑に陥らないように」</p> <p>3) ヨハ 20:22 「息を吹きかけて聖霊を受けなさい」</p> <p>2. 最後に教えられた祈り</p> <p>1) マタ 6:10</p> <p>2) マタ 10:7 を思い出させる内容でもあるが</p> <p>3) 使 1:3 確信を与えたこと「神の国のこと」</p> <p>3. それ以降に起きた答え</p> <p>1) 使 2:1-27(マルコの屋上の部屋教会)以降に揺れたことはない。</p> <p>2) 使 12:1-25(アンティオキア)祈って危機を克服</p> <p>3) 使 13:1-4、16:6-10、19:21 全世界に出て行く働き</p> <p>□結論_ 奪われた霊的世界を完全に生かしなさい。</p> |

| △区域メッセージ (第 26 週)<br>神のさばきと 25 の答え (ルカ 16:19-31)   | △聖日 1 部礼拝<br>心を安らがせる者 (I コリ 16:18-19)  | △聖日 2 部礼拝/神殿建築献身礼拝<br>最もすぐれた宣教の助け (II コリ 1:11)   |
|--|--|--|
| <p>伝 3:15 を見れば、すべてのこと、すべての人に時刻表がある。「今あることは、すでにあったこと。これからあることも、すでにあったこと。追い求められてきたことを神はなお求められる。」となっている。</p> <p>□序論</p> <p>△根本的なことは聖日礼拝をささげるとき、平日に霊的な力を得て、霊的サミットを味わうことが一番重要だ。サミットは大統領、王に使う単語だ。それで頂上だ。RT7 人のように霊的サミットになれば、すべてのことが見え始める。イエスも聖霊に満たされれば証人になると言われた (使 1:8)。</p> <p>△未信者は自分勝手に生きて死ぬが、悪魔の子どもだ (ヨハ 8:44)。救われた神様の人は神の宮だ (I コリ 3:16)。未信者は悪魔に仕えているので地獄に行かなければならず、私たちは神様の子どもになったので天国に行くのだ。問題はこれがさばきなのだが、現在の背景であることが、さらに恐ろしいことで、実際の所属がそうになっている。</p> <p>□本論</p> <p>1. 永遠</p> <p>1) ルカ 16:19-31 死ぬのではなく引越すだけ、永遠にある。金持ちとして生きて永遠の火の中にいるのと、乞食として生きて永遠の天国にいることと、どちらがより良いのかをたとえて説明された</p> <p>2) ヨハ 14:1-27 天国を備えたら私たちを連れて行くと言われて、「助け主聖霊があなたがたに臨めば永遠にあなたがたの中にいる」と言われた。</p> <p>3) 黙 20:1-6 (I コリ 15:20) すべての人は復活することで、イエスがその初穂となられた。</p> <p>2. 防ぐ役割</p> <p>1) 金持ち (地獄) - それゆえ、生きている間に福音を伝えるのだ。身体を持っているときだけ救われる。それゆえ、生きていることが重要だ。</p> <p>2) 12 - サタンが 12 の戦略を使うので、止めなければならない。</p> <p>3) わざわい - その証拠で、さらに大きい国、立派な人に続けてわざわざいが来る。</p> <p>3. 事実化 - I コリ 3:16 を事実化させたのだ。</p> <p>1) モーセ - 幼い時 2) ダビデ</p> <p>3) オバデヤ - わざわいも防いで国も生かした。</p> <p>4) ダニエルを通してすべての知恵がみな出てきた。</p> <p>5) パウロ 1 人が英雄よりもっと大きい影響、人を生かす働きが起きた</p> <p>□結論 <b>黙想タイム</b></p> <p>1. 三つの庭 - 三つの庭を回復する神殿を作ろうということだ。</p> <p>2. 40 日 - 最後 (3・9・3) - イエス様が集中講義された 40 日に 3・9・3 に 15 の働きが入っている。</p> <p>3. 地の果て - 地の果てまで行きなさい。証人になります。それなら、私の地の果てなければならない。</p> | <p>□序論 祈りの答えを受ける霊的な情念を持つべき</p> <p>1. 私に霊的な答えと情念になるべき契約 - 霊的サミット</p> <p>1) 祈りを知って、王より優れた力を持っていたヨケベデ</p> <p>2) 心を安らがせる者 - 霊的サミットの証人</p> <p>※ トロアス主日 - 神殿建築が終わって受ける答えは全世界の門を閉ざす教会回復、福音がない所に教会を設立、わざわざを防ぐこと</p> <p>3) ブリスカ夫婦 (大きい試みにあったコリント教会で大きな答え)</p> <p>4) 心を安らがせる者 5 人派遣 - 死んだ所を生かす霊的サミットの証人</p> <p>2. 試みと問題に会った教会で霊的サミットの証拠を起こした人々</p> <p>1) まことの答えはエジプトで (ヨセフ、ヨケベデ、モーセ)</p> <p>2) まことの証人は荒野で (霊的サミットの契約を握った人)</p> <p>3) まことの人物はペリシテ時代に</p> <p>4) まことの重職者は滅ぼされるようになった時 (エリシャ)</p> <p>(1) 問題 - 答え (2) 葛藤 - 更新 (3) 危機 - 機会</p> <p>5) 捕虜になって行ったとき、王よりさらに優れるサミット</p> <p>6) 世界福音化の最も大きい人物 (コリント教会で) - 百年、千年、永遠の答え</p> <p>7) 必ず握るべき契約 - 崩れた所とわざわざ地帯を生かす霊的サミットの証人</p> <p>3. 霊的サミットが受けた答えと証拠</p> <p>1) 祈りの確信と答えに対する証拠 2) 神様のみことばが成就する証拠 3) 人を生かす証拠</p> <p>□本論 - ブリスカ夫婦と派遣された 5 人</p> <p>1. 神様の心を安らがせる証人</p> <p>1) わざわい来た理由を知っている人 (霊的サミット)</p> <p>2) イエスが与えられたことを知っていた人々 (三つの庭、オリーブ山 40 日)</p> <p>3) イエスがなされたみことばを契約として握った人々 (使 1:8)</p> <p>2. 教会を安らがせる証人</p> <p>1) テモテ (10 節) 2) アポロ (12 節) 3) ステファナ (15 節)</p> <p>4) ポルトナトとアカイコ (17 節)</p> <p>3. 主のしもべと次世代、未来の心を安らがせる証人 - ブリスカとその家にある教会 (地教会運動)</p> <p>1) 使 2:10 マルコの屋上の部屋に出席 2) 使 18:1-4 パウロと出会い</p> <p>3) 使 18:24-28 聖霊のバプテスマ証し</p> <p>4) I コリ 16:19 人を生かす地教会として</p> <p>5) ロマ 16:3-4 同労者、福音のためにいのちを危険にさらした人</p> <p>6) ロマ 16:25-27 この中にいる人</p> <p>□結論</p> <p>1. 霊的サミットの祝福を持って世の中に出て行くべき</p> <p>2. 神殿建築の祈りの課題 - 私たちの使命</p> <p>1) 三つの庭 2) 門を閉ざす教会を生かすこと 3) 重職者の中で祈る人 1 人</p> <p>3. 霊的サミットのミッションを見つけて証人として立ちなさい (I コリ 16:13)</p> <p>1) 目覚めていなさい 2) 信仰に堅く立ちなさい 3) 雄々しく強くありなさい 4) 一切のことを愛をもって行いなさい</p> | <p>インマヌエルの神殿建築の祝福は別にある。レムナント、産業者重職者が崩れた教会を生かすほど、神様は祝福されるだろう。神様がイサクに 100 倍の祝福、レホボテ、泉の根源の祝福を与えられた理由は、世界宣教しなければならぬためだ。門を閉ざす韓国、世界教会を生かさなければならぬ。奪われた祈りからはやく回復しなければならぬ。3 団体は悪霊を信じて <b>ネフィリム</b> 第 3 次産業革命の主役になった。霊的やぐらを作らなければならない。Trinity が働くことが祈りだ。御座を動かすことだ。このとき、<b>時空超越</b>が出てくる。私たちはこの祈りができる<b>身分</b>、<b>権威</b>を持っている。皆さんが世の中を守る<b>見張り人</b>になるのだ。牧会者の祈り、重職者の産業、レムナントのタラントは、<b>プラットフォーム</b>として作られる。他の人を生かして光を照らす<b>見張り台</b>。祈りの力で得た答えが世界を生かす<b>アンテナ</b>。祈りで最も大きい宣教を助けることができる。</p> <p>□序論 神様の慰め</p> <p>1. あらゆる苦しみの中にいる者を慰め</p> <p>2. キリストの力を体験するように</p> <p>3. 大きな死の危機から救い - 「祈りによって私たちが協力してください」「大きな死の危機から救い出してください、私たちのために祈ってください」</p> <p>□本論 神殿建築は<b>世界</b>の門を閉ざすところを生かすのに<b>答え</b>を受けられるほど働き。世界にいる人々を<b>慰め</b>。人の慰めでは、苦しみと苦難、死は解決できない。</p> <p>1. <b>信徒癒やし</b></p> <p>1) ヨハ 19:30 キリストがすべてを完了されたので、始まりが何か教えるべき</p> <p>2) 使 1:3 神の国、御座の力は、すべてを解決すること</p> <p>3) この祝福があなたがたに来ている (I コリ 2:12、I コリ 3:16)</p> <p>2. <b>三つの庭癒やし</b> - 24 システム</p> <p>1) 異邦人癒やし 2) 子どもたち癒やし 3) 病人だ者癒やし</p> <p>3. <b>237 指導者癒やし</b></p> <p>1) RT7 人は王の前に立った。強大国の王に会ってこそ (237) になる。</p> <p>2) 237 か国の教会指導者を呼んで伝道するように訓練させなければならない。</p> <p>3) TCK 来ている人々だ。のがしてはならない。</p> <p>□結論</p> <p>1. 礼拝のとき、最も重要な祈りをしなければならぬ。ユダヤ人は (安息日) にいのちをかけるのに、間違った答えが来る。</p> <p>2. この<b>契約</b>を持って平日にはユダヤ人、ムスリムが<b>徹底的に (定刻) 祈り</b>する。</p> <p>3. 私たちはこれを超えることができる 24、25、00 祈りを握らなければならない。みことばを握って 24 <b>祈りの中</b>に入らなければならぬ。このとき、力が生まれて 25 の答え、癒やしが起こる。神の国が臨む働きが起こる。これを教えることができる神殿を作らなければならない。</p> |